

徳島邦楽ルネッサンス第2章  
純邦楽再興・再考・最高

邦楽版  
新釈

# 姥捨山 *uba sute yama*

平成28年1月24日(日)

開場 13時30分 開演 14時00分

あわぎんホール 1Fホール

徳島県郷土文化会館

入場料「全席指定」

一般 2000円

学生(小中高) 1000円

※未就学児入場・同伴不可、託児室なし  
※学生の方は公演時に学生と証明できるもの  
(学生証等)をご持参ください

幸も不幸も

善も悪も

命も…

すべては環る

人形 — 勘緑・木偶舎  
淡路人形座

浄瑠璃 — 竹本友和嘉

三味線 — 鶴澤友勇

胡弓 — 木場大輔

囃子 — 福原百之助

笛 — 福原百貴

お問い合わせ

あわぎんホール Tel 088-622-8121

主催:公益財団法人徳島県文化振興財団

助成:平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業 一般財団法人地域創造

後援:徳島新聞社、四国放送、エフエム徳島

文化庁  
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS

阿波銀行  
阿波銀行は徳島県の文化振興を応援しています。

邦楽版 新釈

# 姥捨山 uba sute yama

平成28年1月24日(日)

開場13時30分 開演14時00分

あわぎんホール1Fホール

入場料「全席指定」

一般 前売・当日 2000円

小中高 前売・当日 1000円

※未就学児入場・同伴不可・託児なし  
※学生の方は公演時に学生であることを証明できるものをご持参ください

## 出演者



### 人形 勘緑&木偶舎

1955年徳島県池田町生まれ。元(財)文楽協会技芸員、人形座「木偶舎」主宰。二世桐竹勘十郎(人間国宝・故人)に師事。2007年国民文化祭劇場部門・2009年阿波人形浄瑠璃100公演コーディネーター、越後妻有大地の芸術祭専任アーティスト、首都大学東京非常勤講師、2009年徳島新聞文化賞受賞、2015年徳島県表彰受賞。

木偶舎では自然との融合や他ジャンルの音楽・演劇との接点を求めた文楽人形の可能性を追求する一方、全国各地の人形芝居の指導・演出や、農村舞台復活にも積極的に取り組む。



### 人形 淡路人形座

1964年に淡路人形の大座のひとつ吉田傳次郎座(1741~1961)の道具類を引き継ぎ、興行を始めた淡路人形座は、常設館で公演する一方、国内はもちろんのこと、国外でも21回20カ国1地域で公演を行い、高い評価を得ている。また後継者団体への指導、全国の伝統人形芝居保存会への協力など、人形浄瑠璃の普及、発展のための活動も積極的に行う。



三味線 (阿波路会) 鶴澤友勇

昭和53年に鶴澤友路師匠(人間国宝)に入門し、昭和60年に鶴澤友勇を拜命。平成2年より人形浄瑠璃因協会主催女義太夫公演に年2回出演。平成12年、人形浄瑠璃因協会奨励賞。平成25年、第33回伝統文化ポラ賞を受賞。重要無形文化財(総合認定)保持者。



浄瑠璃 (阿波路会) 竹本友和嘉

豊澤町子(母)に師事し、昭和51年に14歳で初舞台を踏む。平成9年に鶴澤友路師匠(人間国宝)より竹本友和嘉を拜命し、友和嘉会を発足。平成14年、人形浄瑠璃因協会奨励賞受賞。平成21年、人形浄瑠璃因協会女子部門奨励賞受賞。



胡弓 木場大輔

淡路島出身。甲陽音楽学院にてジャズの音楽理論とピアノを学ぶ。古典胡弓を原一男に師事。江戸時代より伝わる胡弓の伝統を尊重しつつも、四絃胡弓の開発や、胡弓とピアノのユニット「KODACHI〜木立〜」、和楽器ユニット「おとぎ」で演奏と作曲両面より胡弓の可能性を追求するなど幅広く活動を展開している。



囃子 福原百之助

常磐津文字蔵(一中節家元・都一中)の長男として東京に生まれる。祖父は福原流囃子方、四世寶山左衛門(六代目福原百之助)。2006年七代目福原百之助を襲名。邦楽演奏会、日本舞踊会での演奏の他、ワークショップ等、邦楽の普及活動なども意欲的に展開中。海外公演にも多数参加。邦楽囃子「若獅子会」同人。



笛 福原百貴

東京生まれ。笛は福原徹、長唄囃子は望月左太郎、長唄三味線を東音小島直文に師事。1999年福原百貴の名を許される。2005年東京芸術大学を卒業。以降長唄邦楽囃子笛方として、邦楽演奏会、テレビ・ラジオ等、国内外で幅広く演奏活動の他、普及活動等にも積極的に取り組む。邦楽囃子「若獅子会」同人。

脚本・人形振付:勘緑  
作曲:鶴澤友勇 作曲:木場大輔  
作調:福原百之助 笛作調:福原百貴  
演出:渋谷文孝 舞台監督:岡本尚之  
大道具:関西舞台株式会社  
照明・音響:あわぎんホールスタッフ  
邦楽アドバイザー:小野木豊樹(古典空間)  
企画・制作:(公財)徳島県文化振興財団

山深い貧しい集落、初雪舞う中、  
年老いた老婆を背負い、息子は山へと……。

日本各地に残る棄老伝説に、勘緑が新たな解釈で挑む!  
『幸も不幸も 善も悪も 命も…… すべては環る』

平成24年度初演の当作品が、義太夫節と太棹三味線にのせて、  
あの名シーンとともによみがえる「邦楽版 新釈 姥捨山」!

邦楽版とともに、構成・演出も新たに、皆様へお届けします!!

## あらすじ

山神が棲む深い山。人間たちの行いを静かに見守り続けている。

とある山里。年老いても働き者のばっさまと、おっちょこちょいな息子・六助、  
しっかりものの孫・お清が、慎ましくも仲良く暮らしていた。

ギギー ザザー ゴットン

春。ばっさまがこぐ水車の音が今日も響く。ばっさまの手伝いをしたがるお清。「水のこだけやのうて、お天道様や風のご機嫌もわかるようにならんなあ」ばっさまから孫へ伝えられていく思い。

夏。しかし、山の生活は苦しく、思うように食糧が取れない。苦悩する六助。  
お天道様は見えてくれている。何も悪いことしていないのに今年も凶作。

秋。風が強くなり嵐が来る。自然の猛威と戦う山神。  
雷・雨に包まれ、里は闇に包まれる。力を合わせるばっさまとお清。  
しかし、自然の力は強く水に飲み込まれてゆく。

生活の苦しいこの山里には姥捨て山の風習が残る。  
年老いた者、病気で動けなくなった者。彼らを背負い山へ登る。

冬。足が動かなくなったばっさま。六助はばっさまを連れ山へと向かう……。

プレイガイド インターネット予約・購入 [あわぎんホール](#) [検索](#)

あわぎんホール窓口(9:00~17:00)

※電話もしくはインターネットで予約された方は、  
全国のセブン・イレブンでお支払い・発券いただけます。  
※車いす席をご利用のお客様は、あわぎんホールにお問い合わせください。

お問い合わせ [あわぎんホール\(徳島県郷土文化会館\)](#)  
TEL.088-622-8121

アクセス [徳島駅より徒歩8分](#)  
[徳島ICより車で20分](#)  
[徳島空港より空港連絡バスで25分、徳島駅より8分](#)

近隣駐車場のご案内 [あわぎんホールには専用の駐車場がありません。お車でお越しの方は、あわぎんホール東側の「県営藍場町地下駐車場」をはじめ、周辺の有料駐車場のご利用をお願いします。各駐車場は台数が限られており、駐車できない場合がございますので、公共交通機関のご利用をおすすめします。](#)